



アトリエ虹便り



H23年12月, H24年1月の主な足跡

忘年会 (12月22日(木))

収穫祭を兼ねた忘年会が障害者福祉センターの広い会場で行われました。

H23年はどんな年だったでしょうか。何人かの人には貴重な体験をスライドショー等で見せて頂きました。

お待ちかねのギター演奏に加えて、思いもよらぬサンタさんの訪問で盛り上がりました。



明けましておめでとうございます (1月6日(金))

すごろくをしたり、T君差し入れのカレー入りシフォンケーキ、アトリエ特産の干し柿試食等でお腹を満たし、おしゃべりを楽しんで、元気で新年がスタートしました。

皆さま、本年もよろしくお祈りします。



辰の折り紙 (1月10日(火))

折り紙名人のK君が現れて、実に手際よく折り紙で辰を作ってくれました。どうですか、いいでしょう。



新春ボーリング (1月13日(金))

ボールはなかなか思うようには転がってくれませんね。頻りに聞こえる「あっ」という叫び。何かしくじったのでしょうか。でも、時々聞こえるハイタッチの歓声。ストライク? スペア? いいですねえ。

1位と2位が1点という僅差の勝負。

実力を出せた人もそうでない人も、また次回楽しみましょう。



“私”をしっかり歩んで行く(12)

自分からボールを投げてみる

コミュニケーションのキャッチボールが旨い的时候、お互いに安心できる。つまり、どちらも責めない、責められない、評価もしないし、評価もされない。そして只ボールを投げあう。そういうコミュニケーションは安心できる。この段階があって、次のより複雑な会話に入っていけるのではないのでしょうか。

できれば、待っているのではなく、自分からボールを投げてみましょう。



関わりを実感する

私たちは関わりの中に生きている。誰かに疎遠にされた経験は、多かれ少なかれ誰にもあるのではないだろうか。仲間外れや孤立への恐れは程度の差こそあれみんなにあり、そのことに対する警戒心を抱いている。

しかし、そのことが返って関わりを閉ざす結果となってしまふ。私たちに必要なのは、現にある関わりに気付くこと。関わりを損なうことを警戒するのではなく、関わりを実感することではないのでしょうか。